

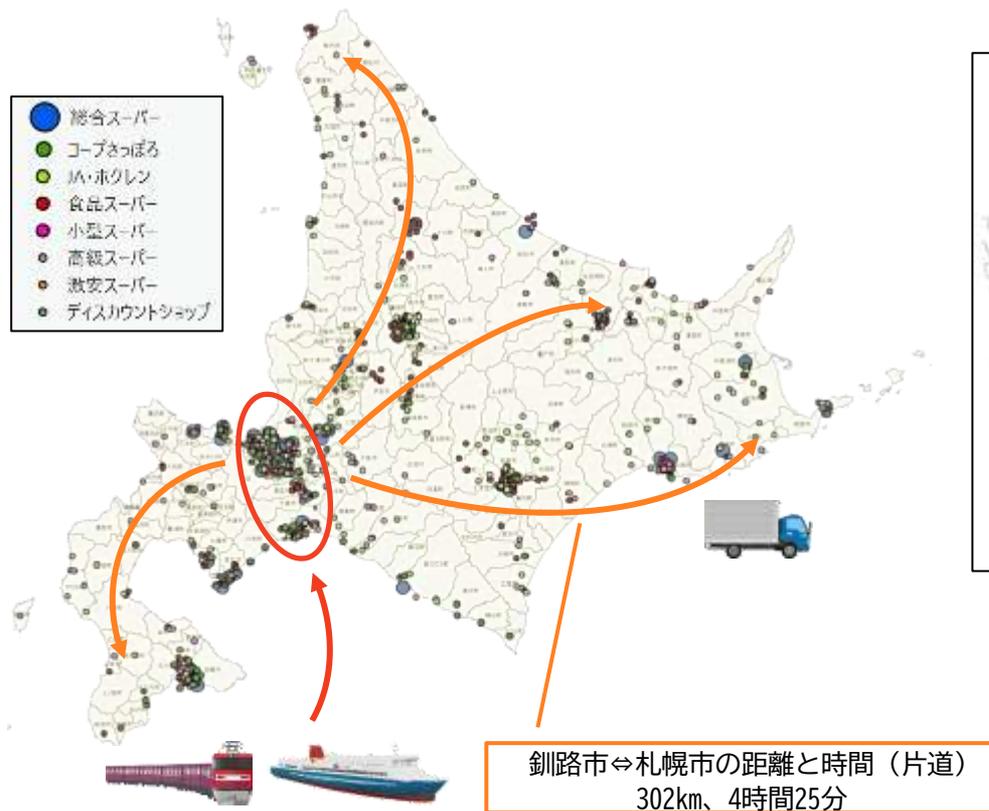
【現状】

道東の小売業などの殆どの日用品は、道央圏の配送センターから陸送されている状況にあるが、物流の2024年問題により、陸送が難しい状況にある。

【イオン北海道（株）の取組み】

栗林商船（株）のRORO船を活用して、衣料品、リビング用品などの輸送を行っており、2024年（令和6年）5月に実証実験、同年10月より本格運用を開始、2025年（令和7年）7月に実施店舗拡大した。

今後は、根室管内の店舗への輸送も構想している。



出典：北海商科大学 学術発展センター 相浦教授提供資料を加工

図 北海道全体の日用品などの物流のイメージ



図 イオン北海道のモーダルシフトのイメージ

(2) 物流機能の強化に向けた検討状況 (その1)

【R6年度】 釧路港将来ビジョン

釧路港の将来像や夢を描くものであり、港湾計画全体の上位概念として、長期構想や港湾計画の方向性を示すもの。

●物流の施策コンセプト
ひがし北海道を支える結節拠点へ。
荷主や物流業界に選ばれる港に。

- (1)高規格内貿ユニットロードターミナルの整備
- (2)外貿コンテナターミナルの高度化
- (3)ストックポイントの形成



(4)高規格道路などの整備促進

【R7年度】 釧路港長期構想

概ね20～30年先の長期的視野に立って、釧路港にどのような施策が必要かを検討するものであり、港湾計画の骨格となるもの。

●高規格内貿RORO船ターミナルの整備。
・シャーシ駐車管理システムや自動係留装置などのDX技術の導入
・ターミナルと一体となったストックポイントの形成



冷蔵倉庫のイメージ(東京港)
(出典:国土交通省ウェブサイト)



シャーシ・コンテナ位置管理等の高度化
(出典:国土交通省ウェブサイト)

図 釧路港長期構想(素案)抜粋

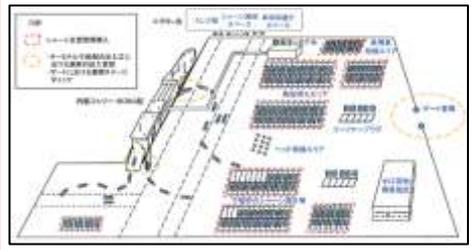
【R8年度】 港湾計画の改訂

長期構想で示された方向性に基づき、概ね10～15年間で具体的に整備する内容を定める実践的な計画。

●釧路港を核とする物流網の形成のため、高規格内貿RORO船ターミナル整備計画を検討。



図 釧路港を核とした物流のイメージ
北海道大学 学術発展センター 相浦教授提供資料を加工



(上図)高規格内貿ユニットロードターミナルのイメージ
(下図)北海道クールロジスティクスプレイズ(苫小牧港)

荷主や物流事業者さまに選択されるため、使い勝手の良い港湾機能の提供を目指して

①高規格内貿RORO船ターミナルの整備

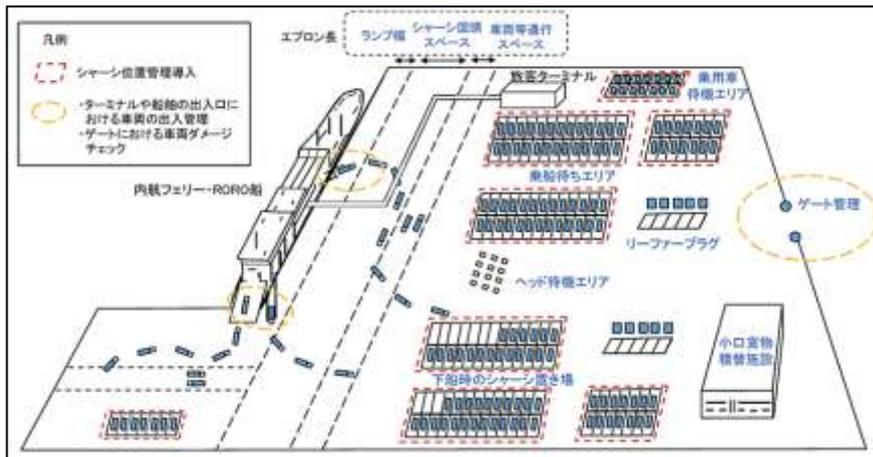


図 高規格内貿ユニットロードターミナルのイメージ（出典：国土交通省資料）

- RORO船の輸送能力の強化を図るための耐震強化岸壁の整備
- 自由な時間でのシャーンの搬出入や保管など、荷役効率の向上を図るためのシャーンヤードの整備

※整備に向けて、RORO船社さまなどの関係各社と協議を進めております。



図 大分港 新RORO船ターミナル シャーン位置情報システム

②ストックポイント・倉庫群の形成



写真 北海道クールロジスティクスプレイス（苫小牧港）

- トラックドライバーの労働環境に対応した荷物の搬出入を可能とする倉庫群の整備
- RORO船のシャートレーラーから店舗搬入用トラックへの積替え施設の整備
- 冷凍、冷蔵機能の付加も構想

○今後の展開

物流拠点の今後のあり方に関する検討会報告書（R7.4月 国交省物流・自動車局）の内容を鑑み、釧路市が主体となって、整備に向けた検討を実施。

※今後、皆様にヒアリングなどのご協力を依頼させていただく場合がございます。
その際は、ご協力方よろしくお願いたします。

釧路港物流ワーキングの設立（R5. 12月）

※参加にご関心のある企業さまは、是非ともお声掛けください※

●目的

物流の2024年問題など、物流が細る時代の局面を迎え、国内物流を支えるために、官民連携、民民連携を促進するため、釧路港の果たすべき役割を議論する。



●参加者（敬称略）（これまでに全3回開催）

- ・学識経験者：北海商科大学 相浦教授
- ・地元の企業：栗林商船、川崎近海汽船、日本通運、三ツ輪運輸、北海運輸、ホクレン、釧根地区トラック協会
- ・外部の企業：北海道物流研究会の皆様、佐川急便

●これまでの主な議論の内容

- ・釧路港を活用した海上輸送への転換により、コストが上がったとしても、今後海上輸送はトレンドになる。
- ・BCP対応を考えた時、船便は欠航が少なく有効であり、釧路港を活用したモーダルシフトにより、日勝峠などが通行止めになった場合でも、商品を配送することができる。
- ・道央からの中継輸送体制を構築する必要もあるが、ドライバーが不足している状況において、2人1組で輸送することは厳しい。そのため、陸送距離が短くなるような輸送形態を構築する必要があり、分散保管という観点においても、道東に保管拠点が必要である。
- ・公共性と公平性のある倉庫を整備することで、マルチユーザーが釧路港に貨物をストックし、そこから高規格道路で道東各地域へ輸送できる体制が望ましい。
- ・釧路港で公共倉庫があれば、商品の一時保管が可能となり、道東エリアの配送範囲をより拡大でき、積み替え作業等もできる可能性がある。

(3) 公共上屋を活用した貨物積替えの実証実験フロー

◆目的

釧路港におけるRORO船を活用したモーダルシフトを推進し、また、将来のストックポイントの形成に向け、倉庫や貨物積替え施設の需要や課題などを把握すること。

◆期間

釧路港を利用したい荷主などのニーズに応じて随時開催

◆貨物積替えの場所

釧路市上屋 西港区3号 (上屋使用料は全額減免)

◆貨物積替えの作業担当

三ッ輪運輸 (株)



①対象船舶

- ・栗林商船 (株) のRORO船
- ・川崎近海汽船 (株) のRORO船

②シャーシは下船ヤードで一旦存置した後、3号上屋に搬入。(3号上屋には、シャーシ2台分のスペースあり。)

③3号上屋では、三ッ輪運輸(株)のフォークリフトにて貨物を積替え。(貨物の仕分けは実施しません。)

④各社にて用意したトラックにて店舗に搬入。

行先	船舶名	総トン数	本港着岸壁	運航経路及びダイヤ	出港日	運航時間	積載能力	代理店	運航者	
日立	ほくれん丸	11,386	西港第2埠頭	釧路 ⇄ 日立 18:00 → 14:00 14:00 ← 18:00	毎日	20H	12mシャーシ 160台 乗用車 100台	北海運輸(株)	川崎近海汽船(株)	
	第二ほくれん丸	11,413								
仙台・東京・大阪・名古屋	神珠丸	14,052	西港第1埠頭	釧路→ 仙台→東京→大阪→東京→仙台→ 苫小牧18:00⇒釧路8:00	釧路/ 火、土	釧路→ 大阪 66H	巻取紙約 2,000本 シャーシ 154台 乗用車 250台	三ッ輪運輸(株)	栗林商船(株)	
	神泉丸	14,054		釧路→仙台→東京→大阪→清水→東京→ 仙台→苫小牧20:00⇒釧路18:00	釧路/ 月		巻取紙約 2,000本 シャーシ 154台 乗用車 250台			
	神永丸	14,054		釧路→ 仙台→東京→名古屋→船橋→東京→仙台 ⇒苫小牧18:00⇒釧路8:00	釧路/ 金		釧路→ 大阪 60H			巻取紙約 2,100本 シャーシ 152台 乗用車 267台
	神加丸	16,726								

(3) 公共上屋を活用した貨物積替えの実証実験 位置図

